

## 第 56 回建築士会全国大会しまね大会紹介

### 1 ) -2 出雲大社と日御碕神社

出雲大社は有名ですが、その周辺にも興味深い神社が幾つかあります。日御碕神社、佐田神社、万九千神社などです。お寺ではありますが、かつて出雲大社と一心同体のような鱈淵寺、眼病に靈驗あらたかな一畑薬師などもあります。佐田神社は松江、万九千神社は斐川ですが、いずれも 1 年に一度の全国縁



鱈淵寺 出雲市

結び神様会議の分科会場として使われる社です。日御碕神社は重要な神社です。出雲大社から断崖絶壁の道を 15 分ほど北に向けて走ると朱塗りの本殿を眼下に見ます。中世に尼子氏の菩提寺の一つとして繁栄し、出雲大社と領地争いを繰り返しながら、一時期は出雲大社を凌駕するほどの勢力を持ちました。島根半島の西端に位置します。全体が朱で彩られた



日御碕神社 日沈宮

艶やかなお社です。随神門を潜り正面に見る社を日沈宮（ひしずみのみや）と称し、天照大神を祀ります。右手の石段を上った高い位置にあるのは神の宮でスサノ



日御碕神社 神の宮

オの尊を祀ります。現在の社は寛永 21 年（1644）のもので、伊勢が日の昇る位置にあるのに対し、日沈みという対極関係にあるという説もあります。社殿の形式も拝殿と本殿の間をつなぐ建物を持つ「権現造」で島根には珍しい形式です。飾りも色鮮やか、木鼻の意匠もなかなか興味深いものです。すぐ近くには東洋一の高さを誇る、石と煉瓦の二重外郭構造を持つ日御碕灯台があります。圧巻の高さです。

